



# 新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

## これからの未来を生きぬく力の基礎を築くこと

副校長 岡村 眞

4月より本校に着任し、3か月が経ちました。2年間離れていた学校現場では3年前とは異なっていることがあり、戸惑うこともありましたが、保護者の方や地域の方々に助けていただきました。大変感謝しております。ありがとうございました。

戸惑うとともに学校は日進月歩しているなど感じました。その一つとして、GIGAスクール構想による、一人1台端末を配付しての教育活動があります。教室を回っていると、授業のなかで一人ひとりが当たり前のように端末を使用している様子は、以前とは大きく異なる光景です。子どもたちは慣れた様子でスムーズに操作していました。子どもたちがICT機器に触れる機会は、ここ数年で飛躍的に増加しています。端末に触れる機会が増えただけでなく、世の中には先進的な技術が次々と登場し、身近なものとなっています。最近では、ChatGPT (Generative Pre-trained Transformer(文章生成モデル)の略称)というものをニュース等で多く見かけることがあります。これは、高度なAI技術によって、人間のように自然な会話ができるAIチャットサービスです。私自身も実際に試してみましたが、自分の欲しい文章や解説を入力すると、一瞬で文書が生成され、その内容の出来のよさと速さに驚きを感じました。このような便利なツールは、これからも私たちの周りに登場し続けることでしょう。特にAIに関しては様々な場面で私たちの生活に関わってくるのだと思います。このAIや同様の便利なツールについては、使いこなすことはもちろんですが、どのような場面でどのように役立てるかを思考し判断していくことがこれからの未来を切り拓いていくうえで求められる力であり、そのための教育を施す必要があるということを感じています。

もう一つは、学校教育サポーターの充実です。本校の読み聞かせや家庭科の実習、まちたんけんなど様々な活動において多くの方の支援があるということ、そしてそれが日常的であることは、教員が教育活動をより円滑に進められるよさがあることはもちろんですが、子どもたちにとっても「多くの地域の方に支えられている」ということを体験する機会となっています。友人や家族だけでなく、周りの様々な人と関わり、協働していくこともこれから大切になる力です。本校ではそれが日々の活動に溶け込んでおり、自然と子どもたちに様々な人と関わる力がついていく環境にあります。

関わりという視点では、保護者の方との関わりも大切です。6月初旬には土曜参観があり、久しぶりに制限のない参観ということもあってか、多くの方にご参観いただきました。なかでも、1年生にとっては小学校生活において初めての授業参観ということで、張り切って授業に臨む様子が印象的でした。6月は土曜参観のほかにも、クリーン作戦や学校保健委員会など保護者の方に参加していただく機会がありました。今後も学校の様子を見ていただいたり活動に参加していただいたりする機会がありますので、その際はよろしくお願ひします。

6月はほぼ平年通り梅雨入りしました。次第に夏が近づいてきていることを感じさせる暑い日もあり、熱中症に気をつけつつ、子どもたちは日々の学習に取り組んでいます。梅雨明けは7月20日前後だそうです。夏休みに入ると同時に梅雨明けしそうです。子どもたちにとって、楽しく充実した夏休みとなることを期待します。